



令和 5 年度 エコシップ・モーダルシフト事業 認定事業者 50 社を選定

エコシップマーク
<http://www.ecoship.jp>

～陸上から海上輸送にシフト、CO₂ 削減を推進～

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会（フェリー事業者並びに R O R O 船、コンテナ船及び自動車専用船等の内航事業者で構成）では国土交通省海事局の協力を得て、令和 6 年 3 月 22 日に開催されたエコシップ・モーダルシフト事業者選定委員会（委員長：矢野裕児 流通経済大学教授）において、令和 5 年度の「エコシップマーク」認定事業者 50 社（荷主 24 社、物流事業者 26 社）を決定しました。

平成 20 年度に第 1 回「エコシップマーク認定制度」を開始して以来、今回で 15 回目を迎えました。推薦される企業数も年々増加する中で、令和 5 年度は下記の事業者がエコシップマークの認定事業者として認定されました。

脱炭素社会の実現に向けて CO₂ 排出量を削減する取り組みが各分野で進められています。海運業界においても陸上輸送から環境負荷の小さい海上輸送へ転換するモーダルシフトを推奨・実践してきました。海上輸送へのモーダルシフトは、CO₂ 排出量の削減はもとより、物流の 2024 年問題におけるトラック運転手の労働負担の軽減に有効であり、持続可能な物流の実現に向けて今後もモーダルシフトを推進、CO₂ 排出量の削減を加速させていきます。なお、下記認定事業者のうち、特に功績のあった優良事業者に対し「海運モーダルシフト大賞」及び国土交通省海事局長表彰が授与されます。

■令和 5 年度 エコシップマーク認定事業者一覧

※重複している事業者は 1 社として集計

荷 主		物 流 事 業 者
1	味の素冷凍食品株式会社	F-LINE株式会社 常温本部 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター
2	ダイオーロジスティクス株式会社 西日本支店※	鈴与株式会社 運輸事業営業部 営業課
3	北海道エア・ウォーター・アグリ株式会社	エア・ウォーター物流株式会社
4	株式会社イチムラ	丸三興業株式会社
5	株式会社明治 生産物流プロセス戦略本部 生産物流部※	明治ロジテック株式会社 道東事業所 明治ロジテック株式会社 八尾食品物流センター
6	名鉄運輸株式会社 東京支社	名鉄運輸株式会社 野田支店
7	株式会社ニューライム	九州ライトニング物流有限会社
8	プリマハム株式会社 鹿児島工場	株式会社エルス
9	キリングroupロジスティクス株式会社	マリネックス株式会社
10	久留米運送株式会社	株式会社 TAMAYA
11	株式会社ブリヂストン	ブリヂストン物流株式会社
12	手島梱包輸送株式会社	有限会社長崎水産運輸
13	日産自動車株式会社	鈴与株式会社 運輸事業推進室
14	日鉄電磁株式会社	鈴与カーゴネット株式会社 九州支店
15	AS プレーキシステムズ株式会社 伊丹工場 生産 管理部 物流グループ	碧南運送株式会社 九州出張所 鈴与カーゴネット株式会社 九州支店 北九州営業所
16	住友ゴム工業株式会社 名古屋工場	株式会社新生運輸 本社営業所
17	三菱自動車工業株式会社	株式会社バンテック

※次ページへ続く

18	日清食品株式会社	サントリーロジスティクス株式会社
19	花王株式会社 和歌山工場	日本通運株式会社 和歌山支店
20	株式会社タカギ	鈴与カーゴネット株式会社
21	株式会社ニッスイ	キャリーネット株式会社 東京営業所
22	ダイオーロジスティクス株式会社 西日本支店※	鈴与カーゴネット株式会社 フェリー輸送事業本部
23	株式会社久原本家食品	鈴与株式会社 運輸事業営業部 札幌事業所
24	ダイキン工業株式会社 鹿島製作所 下関三井化学株式会社	活材ケミカル株式会社

エコシップマーク制度は、地球環境にやさしい海上貨物輸送を一定以上利用している荷主、物流事業者に対して、「エコシップマーク」の認定を行い、マークの表示によって環境にやさしい企業としてのイメージアップに役立てていこうというものです。また、「エコシップマーク」を商品、カタログ、車体等に表示することにより、海上輸送を通じた環境対策に貢献する企業としてアピールし、消費者に認識してもらうことで、海上貨物輸送へのモーダルシフト化を一層促進することを目的としています。

＜参考資料＞ ■令和5年度 エコシップマーク認定事業者一覧 ■過去の認定事業者一覧（平成20年度～令和4年度）
■エコシップマーク・モーダルシフト事業の概要

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会

■事務局：一般社団法人 日本長距離フェリー協会 電話：03-3265-9685 ■担当：伊藤

令和5年度 エコシップ・モーダルシフト事業
「エコシップマーク」認定事業者一覧

番号	推薦者	認定事業者名		概要
		荷主 主要輸送品目	物流事業者	
1	オーシャントランス(株)	味の素冷凍食品(株) ／冷凍食品	F-LINE(株) 常温本部 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター	味の素冷凍食品(株)は「おいしさNo.1」「楽しさ」「健康・栄養」に加え、「環境への配慮」で突き抜けた、唯一無二の存在になることをビジョンとし、冷凍食品業界で初めて、国内全工場の大型フリーザー(製品を急速凍結する設備)で使用している冷媒を環境に優しい自然冷媒に転換するとともに、物流でも製品輸送のパレット化によるトラック乗務員の待機時間や荷役時間を大幅短縮するとともに、九州工場から関東の在庫拠点への製品移動に船舶輸送を導入するなどモーダルシフトを推進するとともに、陸路、鉄道、海上輸送の複線化を行い安定した商品供給を図っている。 F-LINE(株)では、500km以上の長距離区間は輸送手段として、船舶や鉄道を利用しており、海上輸送においては、フェリー、RORO船を活用したトレーラーによる輸送を主たる手段とし、個々の輸送ルートごとに最適な航路を選定。20以上に及ぶ航路を定常的に活用し、近年の長距離トラックドライバー不足問題への対応と、CO2排出量の削減など環境に配慮した物流にシフトすることを推進している。
 味の素冷凍食品(株) https://www.ffa.ajinomoto.com/ 感動で笑顔を  F-LINE(株) 常温本部 南関東支店 https://www.f-line.tokyo.jp/				
2	オーシャントランス(株)	ダイオーロジスティクス(株) 西日本支店 ／家庭紙	鈴与(株) 運輸事業営業部 営業課	ダイオーロジスティクス(株) 西日本支店は、大王製紙をはじめとする大王グループの物流部門として、グループ内で生産された紙製品の輸送を主として担い、全国に配置された拠点と連携して相乗効果を創出し、リードタイム短縮とローコストオペレーションを目指している。大王グループでは、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指し、2030年度のCO2排出量を2013年度比で46%削減することを目指しており、四国中央～関東、東北向け輸送の一部を徳島港～東京港航路のフェリーを利用したフェリー輸送に変更し、CO2排出量の削減と乗務員の拘束時間削減を実施した。 鈴与(株)は時代の変化やお客さまのニーズに合わせて、高品質な輸送サービスをご提案、持続可能なSDGsの取り組みとして、輸送効率化に効果的な高積載車両の開発や、環境にも配慮した輸送方法、最適な輸送ルートのご提案・構築しており、集荷から、海上輸送手配、現地配送まで、一貫した自社オペレーションにより、長距離走行の緩和、CO2排出量の削減により、ドライバーにも環境にも優しい輸送を提供している。
 ダイオーロジスティクス(株) 西日本支店 https://www.daio-logistics.co.jp/  鈴与(株) 運輸事業営業部 営業課 https://www.suzuyo.co.jp/				
3	(株) 商船三井さんふらわあ	北海道エア・ウォーター・アグリ(株) ／農産物	エア・ウォーター物流(株)	北海道エア・ウォーター・アグリ(株)は、エア・ウォーター(株)のグループ会社であり、「生産者と消費者を幸せに。そしておいしい野菜を全国へ。」というスローガンのもと、青果卸事業、冷凍・レトルト野菜の製造・販売事業、アグリサポート事業の3事業を展開。北海道産を中心とした青果物を全国各地の食品メーカーや量販店にお届けするうえで、トレーラー輸送を同社グループのエア・ウォーター物流(株)に内製化し、輸送を集約化することによりさらなるモーダルシフトを推進している。 エア・ウォーター物流(株)はお客様との接点が多いエア・ウォーターグループの「顔」として、もっと丁寧で、もっと確かな物流を心がけ、コンプライアンスを徹底すると共に、独自の技術を生かし、社内でも社外でも存在感のある物流会社を目指しており、グループ内の農産物を主軸とした青果卸、加工販売、冷凍食品輸送の内製化を受け、今後さらなるモーダルシフト推進して参ります。
 地球の恵みを、社会の望みに。 北海道エア・ウォーター・アグリ株式会社 北海道エア・ウォーター・アグリ(株) https://haw-agri.co.jp/  地球の恵みを、社会の望みに。 エア・ウォーター物流株式会社 エア・ウォーター物流(株) https://www.awlg.co.jp/				

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
4	(株)商船三井さんふらわあ	(株)イチムラ ／家具・什器	丸三興業(株)	(株)イチムラは、独自の技術と経験を持つ専門家具メーカーとして、公共施設から住宅まで商品開発と提案活動によって「空間デザイン」を提供、特に学習施設の家具には地域材を利用することで、その地域の林業・木材産業の活性化、森林整備の推進に貢献するとともに、身近な環境保全や、地域の環境を考える「生きた環境教育」のきっかけづくりに取り組んでおり、同社が製造した家具製品の北海道から本州・関東方面への輸送にあっては、トラック事業者の丸三興業(株)と連携し、長距離フェリーを利用することで、モーダルシフトの推進によるCO2排出量の削減に、継続して取り組んでいる。 丸三興業(株)は、創業以来「誰からも好かれる会社作り」を目指し、事務機・什器をはじめとし野菜や引越貨物などを取り扱っており、安全優良事業所(Gマーク)、グリーン経営の認定を受けるなどとともに、(株)イチムラの製造製品の関東方面への輸送を、北海道・苫小牧港から茨城県・茨城港(大洗港区)のフェリーを利用することによって担い、モーダルシフトの推進による温室効果ガス等の排出量削減のほか、トラックドライバーの労務環境改善に継続して取り組んでいる。

株式会社 イチムラ

(株)イチムラ
<https://www.ichimura-seisakusho.co.jp/>



丸三興業株式会社

MARUSAN Industry Co., Ltd.

丸三興業(株)
<https://www.maru3.jp/>

5	(株)商船三井さんふらわあ	(株)明治 生産物流プロセス 戦略本部 生産物流部 ／栄養食	明治ロジテック(株) 道東事業所	(株)明治は明治グループの食品事業を担う企業として、「健康にアイデアを」をmeijiのグループスローガンとし、脱炭素社会に向けても2050年カーボンニュートラルの実現に向けてCO2削減、CFP(カーボンフットプリント)算定を推進している。脱炭素社会に関する目標を数値にして「見える化」させるなど環境問題に積極的に取り組んでおり、各生産拠点においても優れた省エネ設備の導入、高効率ボイラーへの転換を積極的に進めている。輸送部門についてもモーダルシフトをはじめ、他メーカーとの協働配送を積極的に進め配送車両の生産性を向上させることで、CO2排出・エネルギー消費の削減を進めている。
6	(株)名門大洋フェリー	(株)明治 生産物流プロセス 戦略本部 生産物流部 ／乳製品	明治ロジテック(株) 八尾食品物流センター	明治ロジテック(株)は、(株)明治のグループ内の物流子会社として地球環境と共生しつつ、物流を通して明るい社会の発展に貢献することを掲げ、チルド・フローゼン・定温・常温の4温度帯をカバーする複合物流を積極的に推進している。省エネ運転、省エネ車両の導入、協働配送による車両台数の削減、自然冷媒冷凍機の導入などとともに、省エネ・地球温暖化対策の強化の一環とし、特に長距離輸送においてはフェリーを活用するなどモーダルシフトへの転換を推進している。

健康にアイデアを

meiji

(株)明治 生産物流プロセス
戦略本部 生産物流部
<https://www.meiji.co.jp/>



明治ロジテック(株)道東事業所
・八尾食品物流センター
<https://www.meiji-logitech.com/>

7	(株)商船三井さんふらわあ	名鉄運輸(株)東京支社 ／一般雑貨	名鉄運輸(株) 野田支店	名鉄運輸(株)は、特別積み合わせ貨物自動車運送事業をコア事業として、全国の名鉄運輸グループのネットワークを基盤に国内物流を展開しているが、輸送サービスの提供という事業活動から生ずる、環境への種々の影響を低減することが、社会的責任の一つと認識し、「環境にやさしい名鉄運輸」の実現のために、社員一人ひとりを含めた社内全組織の連携により、環境問題に積極的に取り組んでおり、CO2排出量削減のため、環境に配慮した車両の導入、エコドライブ教育、モーダルシフトの推進を行っている。そのため、主力事業の「特積み貨物」に輸送においてモーダルシフト推進によるCO2排出量の削減を目的として本格的に海上輸送を利用しているが、その一環として2021年4月より野田支店取扱分の関東地区(主に千葉県、埼玉県、東京北部地区)発/北海道向けの特別積み合わせ貨物について、フェリー利用を本格的に開始し、セミトレーラーによる一貫輸送を行っている。
---	---------------	----------------------	-----------------	---



**MEITETSU
TRANSPORTATION**

名鉄運輸(株)東京支社
<https://www.meitetsuunyu.co.jp/>



**MEITETSU
TRANSPORTATION**

名鉄運輸(株)野田支店
<https://www.meitetsuunyu.co.jp/>

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
8	(株)商船三井さんふらわあ	(株)ニューライム ／一般工業用合成炭酸カルシウム製品	九州ライトニング物流(有)	(株)ニューライムは、大分県津久見市の、化学原料メーカー。古手川産業グループの一社として地元・津久見の石灰を用い高付加価値合成炭酸カルシウムの研究開発～製造販売までを手掛けている。石灰石という天然資源の恩恵を享受する企業グループとして、その資源価値の最大化を追求することはもちろん、生産プロセスにおけるエネルギーの有効活用や、環境保護をはじめとする石灰製品の幅広い用途への提供を通じて持続可能な社会づくりにも寄与している。 昨今の環境負荷低減に対する社会的要請に応えるべく、早期より九州～関西間の輸送においてモーダルシフトに積極的に取り組み、物流会社のフェリー利用を積極的に促進している。 九州ライトニング物流(有)は、大分県大分市に本社を置く運送会社である。輸送部分においては、主に(株)商船三井さんふらわあを利用したフェリー航送を活用して全国へ向けて精密機械、焼酎、石灰品など一般貨物輸送を行っている。創業当初より長きにわたりフェリーを活用した海上輸送を実施しており、CO2排出量の削減に努めている。

株式会社ニューライム

(株)ニューライム
<https://www.newlime.jp>



九州ライトニング物流(有)
<https://www.klb-oita.com/>

9	(株)商船三井さんふらわあ	プリマハム(株) 鹿児島工場 ／ハムソーセージ原料肉	(株)エルス	プリマハム(株)鹿児島工場は、地場の原料を活かした、食肉加工品の製造を行っており、太陽光発電設備を設置し、工場で使用する電力の10%を補っている他、重油からLNGへの燃料転換、自然冷媒を使用した冷凍機の採用等、CO2の削減の取り組みを行っている。また、ハム・ソーセージ原料肉の輸送において海上輸送を行っており、大阪～鹿児島(志布志)へフェリー運行ヘシフトすることで、CO2の削減に寄与している。 (株)エルスは、自社センターに自家消費型太陽光パネルを設置することによりCO2排出量削減に取り組んでいるほか、複数顧客の貨物を自社センターへ集約、自社路線便に混載することで積載効率を上げるとともに陸上輸送から海上輸送に切り替え走行距離を減らすことによりCO2排出量の削減、乗務員の労働時間短縮へ繋げている。更に近年はフェリーを利用する区間で無人でのシャーン輸送にシフトすることにより、環境対策・省人化を図っている。
---	---------------	----------------------------------	--------	---

おいしさ、ふれあい。



プリマハム(株)鹿児島工場
<https://www.primaham.co.jp/>



(株)エルス
<https://www.els-s.co.jp>

10	新日本海フェリー(株)	キリングroupロジスティクス(株) ／飲料	マリネックス(株)	キリングroupロジスティクス(株)は、「ホワイト物流推進運動」や「共同配送スキーム」等を通じて環境負荷低減に積極的に取り組むとともに、「環境方針」として環境汚染防止の重要性を深く認識し、事業を通じて地球環境保全のための活動を積極的に推進し、長距離輸送においては、積極的にモーダルシフトの推進を行っている。 マリネックス(株)は、環境負荷低減に積極的に取り組んでおり、国内外の物流事業において1,100台のトレーラーを無人航送にて100%海上ルートで展開している。また、環境負荷低減につながる車両の設備投資も積極的に行っており、全長14m最大積載量25,100kgのトレーラーを利用することによる積載効率の向上によるCO2削減に貢献している。
----	-------------	---------------------------	-----------	---

よろこびが つなぐ 世界へ



キリングroupロジスティクス株式会社

キリングroupロジスティクス(株)
<http://www.kirin-logistics.co.jp/>



マリネックス(株)
<https://www.snf.jp/distribution/mrinex/>

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
11	東京九州フェリー (株)	久留米運送(株) ／雑貨、加工品、食品	(株)TAMAYA	久留米運送(株)は「特別積合せ貨物運送事業」を中心とした総合物流企業として九州～本州間の輸送をメインに不特定多数の荷主商品を混載し輸送しているが、SDGSの取り組みとして「排気ガス・CO2排出量削減」を掲げフェリー利用を推進するとともに「輸送に伴う廃棄物の削減と再資源化」としてパレットやフィルムの再資源化を協力会社と一丸となり進めている。今回、同社大分集約拠点から南関東集約拠点まで幹線定期便について協力会社を通じて全線陸送対応からフェリー利用への切り替えを実施した。 (株)TAMAYAは、企業理念にも掲げられている「社会的責任」への取り組みとして環境への配慮を進めており、「無駄なアイドリングストップ」を推奨、ドライバー仮眠時のアイドリングストップの為、車両に冷暖房機を設置、また、フェリーの乗船時間に間に合う時間の集荷を各荷主に嘆願し、環境負荷低減を目指している。



まごころを=はこぶ

久留米運送株式会社

久留米運送(株)
<https://www.kurumeunsou.co.jp/>



TAMAYA

(株)TAMAYA
<http://www.tamaya-yu.com>

12	東京九州フェリー(株)	(株)ブリヂストン ／タイヤ	ブリヂストン物流(株)	(株)ブリヂストンは、世界最大規模のタイヤメーカーとして、物流面においては年平均1%のCO2削減に向け、グループ会社のブリヂストン物流株式会社をはじめとした物流事業者と協力して、トラック輸送では、ハイブリッド車など低燃費と低排出ガスの実現につながる車両の導入やエコドライブの推進、車両の大型化といった輸送効率の改善を図るとともに、空コンテナの返送を削減するコンテナラウンドユースや「総合配車システム」による往復輸送の拡大など、物流ルートの改善による輸送距離の短縮を進めるとともに、鉄道、船舶輸送へのモーダルシフトの推進などにより、工場から物流拠点への輸送に伴うCO2排出量削減に努めています。 ブリヂストン物流(株)は、ブリヂストングループの唯一の物流専門会社として、タイヤ物流を柱に、これまで培ってきた物流現場ノウハウ、物流技術、ネットワーク力を活かし、これからの環境変化に対応できる物流体制の構築を進め、顧客視点を基本姿勢に、今後を見据えた物流と件の見える化とあるべき物流像へ向けた活動を推進し、モーダルシフトにおいても輸送力確保やCO2排出量削減を目的として、積極的に推進している。
----	-------------	-------------------	-------------	--

BRIDGESTONE

Solutions for your journey

(株)ブリヂストン
<https://www.bridgestone.co.jp/>

ブリヂストン物流株式会社

ブリヂストン物流(株)
<https://www.bsb.co.jp/>

13	東京九州フェリー(株)	手島梱包輸送(株) ／印刷物	(有)長崎水産運輸	手島梱包輸送(株)は設立以来、複数の出版メーカーから依頼された印刷物を東京から長崎まで輸送している。今後もモーダルシフトの比率を高める為に海上輸送を推進しており、各出版メーカーと集荷時間及び到着時間を調整。到着時間に関しては、1日遅らせる体制を整え、海上輸送への切り替えに繋がった。 (有)長崎水産運輸は長崎魚市より、その日に水揚げされた水産物を豊洲市場まで輸送している。環境保護対策として、アイドリングストップ運転の実施、全車両低公害車を完備、CO2削減に努めており、同社の企業理念「環境への配慮を忘れず、地域と共存共栄を目指します」を基に、復荷の印刷物をフェリー利用にシフト、到着日の調整等を行いながら、海上輸送への転換を実現させた。
----	-------------	-------------------	-----------	---



手島梱包輸送(株)



(有)長崎水産運輸
<http://suisan-unyu.co.jp>

番号	推薦者	認定事業者名		概要
		荷主	物流事業者	
		主要輸送品目		
14	阪九フェリー(株)	日産自動車(株) ／自動車部品	鈴与(株) 運輸事業推進室	日産自動車(株)は、全世界に展開するグローバルな自動車メーカーであり、環境理念である「人とクルマと自然の共生」を実現するため、中期環境行動計画「ニッサン・グリーンプログラム(NGP)」を推進している。自動車産業は、CO2排出量の削減と、化石燃料への依存からの脱却に取り組むことが求められており、そのビジネス構造は大きく変化しつつあるが、日産自動車はグローバルな自動車メーカーとして、クルマの原材料の調達から輸送、走行時など、サプライヤーを含むバリューチェーン全体でのCO2排出量を視野に入れ、新たな技術開発を進め、再生可能なエネルギーを利用するなど、企業活動との両立を意識してCO2削減に取り組んでいる。調達物流においては、自社手配のトラックがサプライヤーを回り、必要な部品を引き取る「引取輸送方式」を導入し、グローバルに効率化を推進するとともに、随時物流手段の見直しを進めている中、清須にある新規サプライヤーからの引取輸送において海上輸送を選択することで、モーダルシフトを推進した。 鈴与(株)は静岡を本拠地とする総合物流企業であり、「共生(ともいき)」の精神のもと、物流を中心としたサービスを展開しながら国内外にネットワークを広げ、新たな事業にも積極的に取り組んでいる。その中でも運送部門を担当するグループ会社を通じてモーダルシフトやドライバーの労務コンプライアンス、輸送コストの削減といった物流課題の解決を目指し、国内長距離輸送はフェリー・RORO船を利用する海陸一貫輸送サービスの顧客提案を重視し、顧客へのトレーラー輸送化の提案に注力している。
 日産自動車(株) https://www.nissan.co.jp/  鈴与(株)運輸事業推進室 https://www.suzuyo.co.jp/				
15	阪九フェリー(株)	日鉄電磁(株) ／トランスコア	鈴与カーゴネット(株) 九州支店	日鉄電磁(株)は、電磁鋼板の総合加工センターであり、日本製鉄グループの一員として、電磁鋼板の加工を通じて電気エネルギーの効率的な変換に役立つ商品・技術を提供し社会に貢献している。現在、地球環境・エネルギーを取り巻く環境が大きく変化し、脱化石燃料・エネルギーの高効率活用がますます加速しようとしているが、このような変化に機敏にそして的確に対応するために、安全第一とコンプライアンスを基本とし、より良い品質・技術・サービスをタイムリーにお客様にお届けできるよう努力している。 北九州発～関西、中京、関東向け輸送の一部をフェリー輸送に変更することで、CO2削減を達成するとともに乗務員の拘束時間を削減しており、今後もさらなるフェリー輸送利用を促進し、環境問題や2024年問題に対応した輸送体制を構築する。 鈴与カーゴネット(株)は時代の変化やお客さまのニーズに合わせて、高品質な輸送サービスをご提案し、将来にも持続可能なSDGsの取り組みとして、輸送効率化に効果的な高積載車両の開発や、環境にも配慮した輸送方法の構築など、さまざまな挑戦をしており、フェリー輸送によるモーダルシフトの取り組みを強化し、長距離走行の緩和、CO2排出量の削減により、ドライバーにも環境にも優しい輸送を提供している。 集荷から配送まで、一貫した自社オペレーションによりお客様の要望に柔軟に対応、全国各地の航路を使用して最適な輸送ルートの提案・構築を可能としている。当該フェリー輸送を行うにあたり、輸送ロットがトレーラーに纏まらないという課題について、中ロット混載サービスを利用することによりモーダルシフトを実現した。
 NIPPON STEEL 日鉄電磁(株) https://nse.co.jp  鈴与カーゴネット(株) https://www.suzuyo-scn.co.jp				

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
16	阪九フェリー(株)	ASブレーキシステムズ(株) 伊丹工場 生産管理部 物流グループ ／自動車部品／空容器	碧南運送(株)九州出張所 鈴与カーゴネット(株)九州支店 北九州営業所	ASブレーキシステムズ(株)は世界屈指のブレーキシステムサプライヤーであり「世界一お客様に喜ばれるブレーキ屋集団」をめざすアドヴィックスグループの、日本での中核的生産拠点のひとつとして、特長ある世界的戦略製品をお届けし続けております。 当社グループでは地球環境への負荷「ゼロ」をめざしたCO2排出量の削減、循環型社会への移行への取り組みとして、クリーンエネルギー工場の拡充、生産工程からの排水の完全リサイクル化実現、太陽光発電など環境型社会に向けた複合的な取り組みを強化しています。 また伊丹～九州間輸送(往路:自動車部品、復路:空容器)に於いて現代の様々な物流問題を碧南運送と協議し議論を重ね環境負荷低減や人手不足、対応輸送手段を陸上輸送からフェリーを利用した海陸一貫輸送に変更し、カーボンニュートラル実現に向けた活動やASブレーキシステムズ独自の出入庫トレサビシステムにも取り組んでいます。 アイシングループの一員である碧南運送(株)は、多様な物流サービスを通してお客様各位の生産活動を支えるため、地域との共存と、社会への貢献が不可欠と考え、地域活動に積極的に参加させていただくとともに、車両への安全装置類の搭載推進、ドライバーへの広く徹底した安全教育、環境に配慮したトラック・フォークリフト・通勤バス等でCO2削減などに力を注いでおり、カーボンニュートラル社会の実現を目指し、メーカーへのリードタイムの調整を行い陸上輸送に比べCO2排出量が少ないフェリー輸送などを積極的に提案して、環境保護への取り組みや地域活動への参加を通じて、良き企業市民としてお客様や地域の皆様の期待に応えられるよう、取り組みを行っている。 鈴与カーゴネット(株)は、物流事業を通じて環境負荷低減、生産性向上、多様な人材確保など自分たちができることを見つめなおし、持続可能な社会の実現に向けての取り組みの一貫として、フェリー輸送によるモーダルシフトを積極的に推進している。環境負荷の低減、労働力不足への対応、輸送力の安定供給などの荷主の物流課題解決に向け、最適な車両を提供しており、当輸送に於いても低床トレーラーを使用してモーダルシフトを実施しただけではなく輸送効率向上も実現させた。



ASブレーキシステムズ(株)
伊丹工場 生産管理部 物流グループ
<https://www.asbrake.co.jp/>



碧南運送(株)九州出張所
<https://www.hekiun.co.jp/>



鈴与カーゴネット(株)
九州支店 北九州営業所
<https://www.suzuyo-scn.co.jp>

17	(株)名門大洋フェリー	住友ゴム工業(株) 名古屋工場 ／タイヤ	(株)新生運輸 本社営業所	住友ゴム工業(株)はスポーツ事業、産業品事業を展開している。タイヤ事業においては「自動車タイヤ国産第一号」や日本初の「ラジアルタイヤ」、世界初の「100%石油外天然資源タイヤ」などを世に送り出すとともに、これらの開発で培ったバイオマスを中心とした石油に依存しないタイヤづくりを進化させ、リサイクル原材料費率も高めていながら、全事業で2050年にはサステナブル原材料比率を100%とし、カーボンニュートラル実現を目指しており、原材料や製品の輸送においても環境負荷低減にモーダルシフトに積極的に取り組んでいる。 (株)新生運輸 本社営業所は、大型車を中心に豊富な種類の車両で全国一円を顧客ニーズに応じ、教育された従業員と整備された車両で安全と信頼を得ており、大阪南港～新門司港の海上輸送により乗務員の労働負荷低減並びにCO2排出量の削減を積極的に取り組んでいる。
----	-------------	----------------------------	---------------	---



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.
住友ゴム工業(株)名古屋工場
<https://www.srigroup.co.jp>



(株)新生運輸 本社営業所
<https://www.shinsei-miyazaki.co.jp>

番号	推薦者	認定事業者名		概要
		荷主	物流事業者	
		主要輸送品目		
18	(株)名門大洋フェリー	三菱自動車工業(株) ／自動車関連部品	(株)バンテック	三菱自動車工業(株)は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、サプライチェーン全体でのCO2削減に積極的に取り組んでいる。2030年度目標として、新車平均CO2排出量:▲40%(2010年度比)、電動車販売比率:50%(100%(2035年度))、事業活動CO2排出量:▲50%(Scope1,2総量 2018年度比)を掲げており、幹線輸送においてもモーダルシフトの取り組みを推進している。また、モーダルシフトのみならず梱包改善活動や各種積載率向上活動といった自社努力、各物流協力会社との連携による輸送機材の大型化、アライアンスパートナーとの共同輸送など積極的かつ包括的な活動を実施している。 バンテックグループは、ロジスティクスグループの一員として「人と環境に優しいロジスティクス」をスローガンに地球環境の保全と会社への貢献をめざして活動しており、CO2排出量削減目標として2030年までに2013年度比で50%、2050年までにカーボンニュートラル(ネットゼロ)を掲げている。また、CO2排出削減は元より、今後のドライバー不足や2024年4月以降のトラックドライバーの時間外労働時間の上限規制等における問題を乗り越えるための対応策と合わせて取り組んでいる。
 三菱自動車工業(株) https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html  (株)バンテック https://www.vantec-gl.com/japanese/				
19	(株)名門大洋フェリー	日清食品(株) ／即席麺	サントリーロジスティクス(株)	日清食品グループは、2020年4月に、気候変動問題への取り組みを加速し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指すため、環境戦略「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」を策定。気候変動問題に関しては、省エネルギー施策の実施や再生可能エネルギー、高効率なエネルギー設備の導入などを進め、2050年までにCO2の排出量と吸収量を「プラスマイナスゼロ」にする「カーボンニュートラル」の達成を目指している。日清食品(株)では、製品の輸送手段をトラックから船舶や鉄道に転換するモーダルシフトを進めており、主に中・長距離輸送において、船舶の利用を拡大している。 サントリーロジスティクス(株)は、持続可能な社会のために効率的な輸配送をはじめ、物流の現場から地球環境保持のためにできることを日々模索し積極的に取り組んでおり、2024年を前に、海上輸送シフトの取組みを強化、輸送距離500km以上かつ、トラック輸送がメインである拠点間輸送をターゲットに船舶を使ったモーダルシフトへの取り組みを、日清食品(株)へ提案し、トライアル輸送を重ねて、滋賀→福岡、山口→大阪間におけるトラック輸送を内航海運を使った輸送に切替えた。
 日清食品(株) https://www.nissin.com  サントリーロジスティクス(株) https://www.suntorylogistics.co.jp				
20	大王海運(株)	花王(株)和歌山工場 ／家庭用洗剤	日本通運(株) 和歌山支店	花王(株)は持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一環として、脱炭素社会の実現をめざしており、2040年までにカーボンゼロ、2050年までにカーボンネガティブとする目標を設定している。 持続可能なサプライチェーンをめざす本取組みでは、物流事業者の日本通運(株)と協働して事業活動におけるCO2排出量削減に取り組んでいる。 和歌山工場から関東拠点への幹線輸送でのCO2排出量削減において、和歌山県のRORO船誘致の動きと連携し、定期航路就航を実現。2022年10月からの1年で年間17,684トンの製品を海上輸送し、前年同期比 1,795t-CO2/年(15.9%)の削減に繋がった。 日本通運(株)は、お客様企業と物流事業者の連携・協業を進め、トラック中心の輸送形態から、鉄道・船舶を利用した輸送形態へ切り替える「モーダルシフト」に数多く取り組んでいる。トラック、鉄道、船舶、航空といった各輸送モードを有機的に結び付けるモーダルシフトは、環境負荷の低減や輸送の効率化に加え、BCP(事業継続計画)対策としても推進している。CO2排出削減型物流サービスのうち 内航海上輸送は、低コストで大量の貨物を長距離輸送できる環境負荷の低い輸送モードであり、燃料消費に伴うCO2排出量の削減に取り組んでいる。
 花王(株)和歌山工場 https://www.kao.com/jp/  日本通運(株)和歌山支店 https://www.nittsu.co.jp				

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
21	(株)商船三井さんふらわあ	(株)タカギ ／浄水器カートリッジ	鈴与カーゴネット(株)	園芸散水用品や、家庭用浄水器などの水まわり製品の製造・販売を行っている(株)タカギは、北九州発～埼玉向け輸送で従来は大型車による陸上輸送を行っていた。その輸送の一部を荻田港～東京港航路のRORO船を利用したフェリー輸送に変更したことで、CO2削減を達成し、乗務員の拘束時間削減を実施した。今後もさらなるフェリー輸送利用を促進し、環境問題や2024年問題に対応した輸送体制を構築していく。 鈴与カーゴネット(株)は集荷から、海上輸送手配、現地配送まで、一貫した自社オペレーションで対応している。シャーシ本数(約1,300本)を保有しており、お客様の要望に応じて柔軟に対応している。各船会社との連携により、全国あらゆる航路に対応しているので、最適な輸送ルートのご提案・構築が可能。(株)タカギ様がフェリー輸送を行うにあたり、輸送ロットがトレーラーにまとまらないという課題があったが、当社の中ロット混載サービスを利用いただき、モーダルシフトを実施する事ができた。

takagi

(株)タカギ
<https://www.takagi.co.jp/>



鈴与カーゴネット(株)
<https://www.suzuyo-scn.co.jp>

22	(株)商船三井さんふらわあ	(株)ニッスイ ／冷凍食品	キャリーネット(株) 東京営業所	食品の製造・販売、漁業・養殖・水産加工及びFC事業を展開する(株)ニッスイは、グループの物流子会社と連携し、冷蔵倉庫へ太陽光発電の導入や脱フロンの取組みとして自然冷媒へ切替を実施。また、冷蔵メーカーとの共同配送を推進し、輸送効率の向上とCO2排出削減に取り組む。トレーラー運行の拡大に伴い、関東～九州間の輸送を陸送から海上輸送へ全面的にシフトした。令和4年度は海上輸送の利用率が前年比 214%で大幅に増加。 キャリーネット(株)は、(株)ニッスイの系列陸送会社として冷凍食品やチルド品の輸送を主体とする運送業者で、これまで関東から九州向けの輸送は主に有人トラックで陸送していた。2021年からドライバーの拘束時間解消を目的に海上輸送を導入するため、(株)商船三井さんふらわあの航路を利用開始。全国各地に中継拠点を設置し貨物集約による共同配送を取り入れ適正な使用台数を調整、ハイブリッド大型車両の購入など温暖化対策への取組みを(株)ニッスイ社と進める。21年6月からはCO2削減への取組みとして大型トラックの陸送から、13mトレーラーの海上輸送にモーダルシフトした。2022年度にはシャーシ6台を追加、2023年度に4台追加、2024年度に4台追加と購入を推進。今後も2024年問題対策と環境保護へ取り組む。
----	---------------	------------------	---------------------	--



まだ見ぬ、食の力を。

(株)ニッスイ
<https://www.nissui.co.jp>



キャリーネット(株)東京営業所
<https://www.carry-net.co.jp>

23	(株)商船三井さんふらわあ	ダイオーロジスティクス(株) 西日本支店 ／巻取紙	鈴与カーゴネット(株) フェリー輸送事業本部	ダイオーロジスティクス(株)は、大王製紙をはじめとする大王グループの物流部門として、グループ内で生産された紙製品の輸送を主に担い、全国に配置された拠点と連携し相乗効果を創出し、リードタイム短縮とローコストオペレーションを目指しています。大王グループでは、2050年までにカーボンニュートラルの実現をめざし、2030年度のCO2排出量を13年度比で46%削減することを目標として設定している。従来は大型車による陸上輸送を行っていた津山～関東、東北向けの輸送を宇野港～東京航路のRORO船を使用した海上輸送にモーダルシフトすることによって、CO2排出量の削減と乗務員の拘束時間削減を実施した。 鈴与カーゴネット(株)は輸送ルートの見直し・効率化など、物流の全体最適提案を通じて、脱炭素社会・持続可能な社会の実現に向けた取り組みをご提案している。集荷から配送まで、一貫した自社オペレーションによりお客様の要望に柔軟に対応、全国各地の航路を使用して最適な輸送ルートの構築、ご提案しお客様の課題解決に向けて取り組んでいる。
----	---------------	---------------------------------	---------------------------	--



ダイオーロジスティクス(株)西日本支店
<https://www.daio-logistics.co.jp/>



鈴与カーゴネット(株)
フェリー輸送事業本部
<https://www.suzuyo-scn.co.jp>

番号	推 薦 者	認 定 事 業 者 名		概 要
		荷 主	物 流 事 業 者	
		主要輸送品目		
24	近海郵船(株)	(株)久原本家食品 ／調味料	鈴与(株) 運輸事業営業部 札幌事業所	(株)久原本家食品は、1893年(明治26年)創業の醤油蔵を起源にもつ総合食品メーカー・久原本家グループの食品製造を担う事業会社。製造拠点を福岡県糟屋郡久山町に構え、九州発の長距離輸送にフェリー輸送を活用している。2022年6月に北海道恵庭市に工場を竣工し、北海道発の長距離輸送においても生産開始以来、フェリー輸送を主軸に輸送を行っている。 福岡・北海道の2つの製造拠点から全国に向けた長距離輸送は、今後も引き続きフェリー輸送を活用し、CO2排出量削減による環境負荷軽減、及び2024年問題に対応した輸送体制を構築することで輸送力を確保していく。 鈴与(株)は集荷から、海上輸送手配、現地配送まで、一貫した自社オペレーションで対応している。約1,300本のシャーシを保有しており、お客様の要望に応じて柔軟に対応。各船会社との連携により、全国あらゆる航路に対応しているのため、最適な輸送ルートのご提案・構築が可能である。



(株)久原本家食品
<https://kubarahonke.com/>



鈴与(株)運輸事業営業部
札幌事業所
<https://www.suzuyo.co.jp/>

25	井本商運(株)	ダイキン工業(株) 鹿島製作所 下関三井化学(株) ／再生蛍石	活材ケミカル(株)	ダイキン工業(株)は活材ケミカル(株)の仲介で着荷主となる下関三井化学(株)と連携を図ることによりサイクル体制を整えるとともに輸送開始時点から環境負荷を最小化するという高い目標を掲げて最も効率的な物流スキームを追求した結果、輸送当初より全量海上輸送(輸送率100%)を選択し、想定される陸上輸送との比較でCO2削減率69.2%の削減率を達成した。 リサイクル輸送では異例の1,000kmを超える長距離輸送(茨城県神栖市→山口県下関市 1,119km)となることから、関連法規に適した21トンまで積載可能な専用海上コンテナを活用し、「大ロットでの輸送を実現して車両の運行回数を減少することで環境負荷低減」、「パラ積みコンテナの利用により梱包材を不要化し、積み込み／荷下ろしの作業時間低減」、「陸送区間の運行短距離化によって、ドライバー不足が懸念される2024年問題への対応」を実現している。 下関三井化学(株)は、フッ素系廃棄物に含まれるフッ素を有効活用してリサイクル化し、輸入で賄っているフッ素の国内利用に貢献しているほか、1輸送当たり21トンの大ロット化による受け入れ増の拡大に向けて、工場内の保管場所の新設等への投資も積極的に行っている。 活材ケミカル(株)は、原料の調達先を探していた下関三井化学(株)の要請を受けてダイキン工業(株)と下関三井化学(株)をマッチングさせることでフッ素系廃棄物のリサイクル利用に道を拓き、物流についても積極的な関与により取引開始から今回の輸送方法実現に尽力している。
----	---------	--	-----------	--



ダイキン工業(株)鹿島製作所
<https://www.daikin.co.jp/>



下関三井化学株式会社

私がつなぐ、仲間とつなぐ、未来へつなぐ。
下関三井化学(株)
<https://www.shimonoseki-mci.co.jp/>



活材ケミカル株式会社

活材ケミカル(株)
<https://www.katsuzai.co.jp/>